

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員 池田まさよし通信 [第22号]

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>

暑い日が続いていますが、ご健勝にてお過ごしのことと、拝察申し上げます。

平成三十年七月豪雨は、大雨特別警報が発表されるほどの豪雨が京都府全域を襲い、五名の尊い命が失われたほか、舞鶴市、福知山市をはじめ、京都府中北部地域を中心に、河川の氾濫や土砂崩れが発生し、多数の家屋等における床上・床下浸水や、道路、鉄道、河川の損壊等甚大な被害をもたらしました。被災されました皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

私は五月の臨時議会において、環境・建設交通常任委員会、高齢社会の安心・安全対策特別委員会、議会運営委員会に所属することになりました。

西脇知事が誕生して初めてとなる六月補正予算では、「将来に希望の持てる新しい京都づくりに向け、京都の魅力さをさらに高めるための予算を、三つの観点から編成されました。一つに、安心で暮らしやすい社会の構築。二つに、京都産業の活力向上。三つに、スポーツ・文化力による未来の京都づくり。また、平成三十年七月豪雨に對して、被災された方々の生活を一日も早く取り戻すため、復旧・復興に向け、緊急に對応すべき課題について、六月第二次補正予算百六億四千万円を予算化しました。まずは、豪雨災害からの復旧に全力をつくします。



京都府議会議員

池田正義



2018年 4月~7月 池田まさよし 活動報告



4月18日 沿岸警ら隊発隊式



4月23日 西脇知事と懇談



4月26日 韓国・釜山港湾公社



5月12日 防災訓練



5月12日 舞鶴国際ふ頭機能強化事業式典



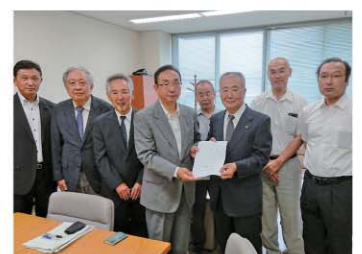
5月30日 室蘭港視察



6月9日 舞鶴市民間保育園連盟総会



6月25日 高野地区要望



6月25日 青井地区要望



6月24日 身体障害者交流運動会



7月3日 神崎浜海開き



7月8日 豪雨災害現場にて



7月16日 海の日交流会

平成30年度6月補正予算の概要

【災害関連予算】106億4,100万円

1. 被災者の生活再建支援

- ◆地域再建被災者住宅助成費 1億8,600万円
- ◆緊急救助活動費 4,300万円

2. 中小企業・農業者の復興支援

- ◆中小企業、農業者等復興支援事業費 5,100万円
- ◆農業者経営復興特別支援事業費 800万円

3. 社会基盤・府民利用施設等の災害復旧等

- ◆道路・河川等の災害復旧 75億円
- ◆北近畿タンゴ鉄道施設の災害復旧 1億1,000万円
- ◆緊急災害防止対策(砂防施設・治山ダム等) 16億9,000万円

【通常補正予算】182億6,500万円

1. 安心して暮らしやすい社会の構築

- ◆周産期等子育て医療体制強化費 2,700万円
- ◆保育等子育て環境充実事業費 1億円
- ◆河川・砂防、いろは呑龍トンネル 27億3,900万円
- ◆健康長寿・データヘルズ推進事業費 2,600万円

- ◆府民協働型インフラ保全事業費 16億円
- ◆女性の起業・経営支援事業費 1,200万円
- ◆府立高校遠隔教育システム導入事業費 3,700万円
- ◆府立高校トイレ洋式化推進事業費 5億8,400万円

2. 京都産業の活力向上

- ◆京都産業人材育成ネットワーク構築事業費 3,300万円
- ◆京都経済センター(仮称)整備事業費 24億8,300万円
- ◆小規模製造業設備投資等支援事業費 1億円
- ◆丹後・知恵のものづくりパーク機能強化事業費 1億2,700万円
- ◆京都式ガストロミーツーリズム推進事業費 2,300万円
- ◆宇治茶新展開事業費 500万円

3. スポーツ・文化力による未来の京都づくり

- ◆京都ワールドアートアンドクラフト展開事業費 1,400万円
- ◆和食文化高等教育機関設置推進費 1億6,700万円
- ◆新行政棟・文化庁移転施設整備費 3億円
- ◆京のアスリート育成・強化総合推進費 5,700万円

4. 新しい時代の戦略づくり

- ◆京都の未来戦略検討費 4,800万円

お知らせ

「府民協働型インフラ保全事業」募集について

京都府では、府民の皆様への身近な「気づき」を地域の安心・安全やインフラの長寿命化に活かすため「府民協働型インフラ保全事業」を募集します。

募集期間 / 1次募集:平成30年8月1日(水)~9月28日(金)
2次募集:平成30年12月頃予定

対象となる施設 / 京都府が管理する道路や河川、交通関係等の施設

提案方法 / 応募要領に記載の受付窓口へ持参、郵送、FAXの他、ホームページからも提案できます。詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.pref.kyoto.jp/koubo-kouji/>

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 (舞鶴市南田辺71番地1)

東事務所 (舞鶴市森本町29-5)



TEL(0773) 77-1722 FAX(0773) 77-1723



TEL(0773) 77-5670 FAX(0773) 77-5671
E-mail: m.ikedai@kyotofugikai.jp

いつでもお気軽にお立ち寄りください。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

【六月定例会】一般質問に登壇！

京都舞鶴港の更なる振興を！

【質問】 外貨貨物のコンテナの需要が増え、想像以上に貿易が進む中、仕向地や仕出地が舞鶴周辺の場合は、京都舞鶴港の利用が物流コストの削減となること明らかとなった。将来を見越した道路整備が進む中で、コンテナヤードの広さやCFS上屋の場所、貿易量の増加予測など同港の将来ビジョンをどのように考えているのか。また、現状の国際ふ頭の面積ではどれだけのコンテナ取扱量を賅えるのか。更には、コンテナの増加に伴い、荷役機器については、何がよいのか検討が必要と考えるがどうか。

TEU、船舶乗降旅客数十五万人等の目標を掲げています。また、舞鶴国際ふ頭は、現在の岸壁二バース、埠頭面積約十八ヘクタールから、それぞれ三バース、約三十三ヘクタールに拡張。第二埠頭は、クルーズ客船の旅客専用再編整備をすること。前島埠頭は、国内と海外をシームレスで繋ぐ物流体系を構築するために、国内フェリーと国際フェリーの一体的なターミナルとして整備すること。西舞鶴道路に接続する港湾道路上安久線を整備すること等を港湾計画に位置付けしており、引き続き、国に対し事業推進を要望します。今後とも、近隣諸国の情勢を踏まえながら、釜山港との連携強化。韓国、中国、ロシアとの貿易拡大。集貨、背後地への企業誘致などにより新たな貨物の獲得等の取り組みを進め、舞鶴港港湾計画に位置付けた目標が達成できるよう取り組みます。



京都舞鶴港

【西脇知事答弁】 平成二十九年度のコンテナ取扱量が一万九千二百七十二TEUとなり、今年度中には「明日の京都」に掲げた目標に達する見込みであります。引き続き、大手食品メーカー等、荷主の荷役機器のトップリフターの上限である三段積みでは、コンテナターミナルの限界能力の約二万一千TEUに達する見込みです。このため、当面、未利用地の有効活用や、現況のコンテナターミナルを効率的に取り扱うことができるよう、新たに四段積み可能な荷役機器、トランスポーターの導入を検討しています。ご指摘のとおり、港湾等の基幹的な社会資本は、十年後、二十年後の将来ビジョンを持って計画的に整備することが重要です。府では平成二十五年度に中長期の計画「舞鶴港港湾計画」を改訂し、平成三十年代半ばに、取扱貨物量千四百万トン、その内コンテナ取扱量三万二千

ターを配置する予算を今議会にお願いしています。今後、中丹・丹後地域リハ支援センターにおけるリハ専門医と連携した病診連携の充実、急性期や回復期などリハビリのステージごとの課題別、また骨折や嚥下障害などの疾患別の研修や事例検討会などによる人材育成、新たに訪問リハを取り組む事業所に対する助言・関係機関調整、また、高次脳機能障害者の方への相談支援やグループワークなどの生活訓練を実施し、北部全体におけるリハビリ機能のさらなる充実・強化を図ります。

北部地域での医師確保対策は！

【質問】 本府でも、新専門医制度のもと、北部地域の連携病院において、専門医の研修が行いやすくなるよう、補助制度の創設に取り組んでいるが、今後、医師が不足する北部地域の医療を維持するためには、自治医科大学卒業の医師派遣や府立医科大学の地域枠医師の育成・派遣などに加え、北部地域で適切な医療を行うための医師確保策について、どのように取り組むのか。

【答弁】 平成二十五年に北部医療センターを府立医大付属病院化し二十診療科に拡充するとともに、地域の医療機関への医師派遣回数を大幅に増加させるなど、北部地域の中核として、医師確保に大きな役割を果たしてきました。

また、奨学金や大学院学費免除等による北部地域への誘導、自治医科大学卒業生・府立医科大学地域枠卒業生の配置に加え、北部地域に勤務する医師に対する研修・研究費の補助、府立医科大学の北部病院での臨床現場体験学習の実施などに取り組んでいます。この結果、北部地域における病院勤務医は平成十八年の三百九十人から平成二十八年には四百二人と十二人増加しました。しかしながら、診療所の医師は百九十八人から百八十九人と九人減少しています。今年度から開始された新専門医制度においても、一年程度は地域の病院で研修をする機関があるため、北部地域で専門医を取得できるよう、必要な指導経費や研修費を支援すると

京都府北部連携都市圏の充実・発展を！

【質問】 二〇四〇年の人口推計において府北部の人口減少が顕著となっている中、二〇一七年には北部五市二町で「京都府北部地域連携都市圏ビジョン」を策定し、観光、経済、教育、移住定住、行政サービスの効率化等の取り組みを連携して進めているが、本府として北部地域の人口減少をどのように認識し、また、北部五市二町が取り組んでいる連携都市圏について、今後どのような支援を行い、どのような地域にしようと考えているのか。

【答弁】 府北部地域は、出生率が比較的高いにも関わらず若年層の流出が大きく、人口減少・高齢化が止まらない非常に厳しい状況にあると認識しています。これに対し、北部連携都市圏は、北部五市二町がその高いポテンシャルを活かし、まさに、人口減少の克服を目指すものであり、これまで海の京都DMOの設立があり、これまでに海の京都DMOと連携した観光振興、農商ビジネス商談会や合同面接会の実施、図書館の相互利用など、昨年七

北部地域リハビリテーション支援拠点の充実強化を！

【質問】 府北部地域におけるリハビリテーション支援拠点の中丹東保健所内への設置に関する補正予算案については、北部地域のリハビリのニーズに的確に対応するものであるとともに、高次脳機能障害の相談窓口が北部地域に初めて設置されることは、府民が生活訓練や就労に向けた準備を行う上で、大きな支えになる。今後、リハビリ支

共に、北部医療機関で、多くの症例が経験できること、また、調査・研究の実施など魅力的な研修環境を提供し、都市部と北部地域での研修ローテー

歴史・文化・スポーツによる地域活性化を！

【質問】 来年開催の国際博物館会議（ICOM）京都大会のプレ大会として「ICOM舞鶴ミーティング二〇一八」が開催されることが決定し、パリの本部や国際委員会の委員長などが参加されると聞く。北部地域で大きな国際会議の関連イベントが開催されることは、北部地域の博物館活動の活性化、文化振興にも寄与することが考えられることから、舞鶴ミーティングを好機として府内、特に開催市である舞鶴市や北部の自治体並びに各博物館と連携し、効果的な事業展開をすべきと考えられるかどうか。

【答弁】 国際博物館会議は世界百四十一か国と地域の約三万七千人の専門家が参加する組織であり、来年九月に開催されるICOM京都大会には、海外からの二千人を含め三千人の専門家と、それを支えるボランティアが参加されます。来年の本大会に向けて、準備も兼ねて博物館・美術関係者、研究者の主要メンバーが、これまでの研究発表等を行うプレ大会を、この九月に舞鶴において開催されます。今回の舞鶴開催は北部地域をはじめ府内各地域の多彩な文化資源を知っていただく絶好の機会です。そのため、舞鶴引揚記念館



舞鶴引揚記念館

ションを調整することで、北部地域の医療機関での勤務につなげるよう、北部地域の医師確保に努めていきます。

【答弁】 急速に高齢化が進む北部地域では、医療機関、介護保険施設、訪問リハなどのリハビリテーション資源が

や赤れんが博物館、天橋立といった現地を見ていただく機会を作るとともに、府内各地の文化資源を有する施設の発信力を強化するため、京都府内の博物館・美術館が参画した「京都府ミュージアムフォーラム」を平成二十九年一月に組織し、今議会に施設紹介冊子の多言語化、地域文化に触れる体験事業等の予算をお願いしています。またICOM京都大会を機に、多くの府民が今まで以上に博物館・美術館を身近なものとして楽しんでいただけるよう、京都府内各施設では、この七月二十日から特別企画などを一体的に展開し、地域文化の保存、継承や観光、まちづくりにつなげていきます。

※1 コンテナヤード/コンテナを荷役し、一時集積しておく場所。 ※2 CFS/船会社が貨物をコンテナに詰め、或いはコンテナから取り出す作業を行う場所のこと。混載貨物専用倉庫。